

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第5回 枚方市立保育所民営化に係る運営法人選定審査会（桜丘北保育所）
開 催 日 時	令和4年9月13日（火） 午後6時15分から午後9時35分まで
開 催 場 所	枚方市役所別館4階 第3委員会室
出 席 者	会 長：石田委員 委 員：富岡委員、福岡委員、渡辺委員、笹田委員、村上委員、今西委員
欠 席 者	なし
案 件 名	報告案件 会議の進行について 審議案件 プレゼンテーション審査
提出された資料等の 名 称	資料1 枚方市立保育所民営化に係る運営法人選定審査会（桜丘北保育所）の 会議の進行について 資料2 枚方市立保育所民営化に係る応募法人プレゼンテーション実施要領
決 定 事 項	第3回選定審査会で確認した選定基準に基づき、プレゼンテーション審査を行 った。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	枚方市情報公開条例第5条第1項第3号、第6号、第7号に規定する非公開情報 が含まれる事項について審議を行うため非公開。
会議録の公表、非公表の 別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	—
所 管 部 署 (事 務 局)	子ども未来部 子育て支援室 私立保育幼稚園課

審 議 内 容

【会長】

定刻となりましたので、第5回枚方市立保育所民営化に係る運営法人選定審査会（桜丘北保育所）を始めます。それでは、事務局から本日の会議について、説明をお願いします。

【事務局】

初めに、本会議の委員の出席状況ですが、本会議は委員7人で構成され、本日は委員7人全員が出席されておりますので、本会議が成立していることをご報告いたします。

なお、このたびは開始時刻の前倒しにご対応いただきまして、誠にありがとうございました。

また、前回の第4回選定審査会は、空調の故障のため、非常に環境が悪い状況で審査いただくこととなり、誠に申し訳ございませんでした。

それでは、本日の配付資料についてご説明いたします。

(配付資料の確認)

本日の資料につきましても、選定に関する情報が含まれておりますので、会議終了後、事務局で、それぞれの委員用のフラットファイルに綴じて保管させていただきます。前回同様、会議終了後は全ての書類を机の上に置いたままにさせていただきますようお願いいたします。

なお、本日の会議も法人決定後会議録を公表するため、会議録作成に必要となることから録音させていただいておりますので、ご了承ください。

続いて、本日の案件について、次第に沿ってご説明いたします。

まず、報告案件は会議の進行について。審議案件はプレゼンテーション審査でございます。

なお、審議中は委員名については公開しない旨、第1回選定審査会で審議のうえ決定しております。本日のプレゼンテーションはネームプレートを設置しておりませんので、ご了承ください。

以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。それでは、会議を進めてまいります。

まず、報告案件の会議の進行について、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

(資料1 1. プレゼンテーション審査をもとに会議の進行について説明)

【会長】

ありがとうございます。ただいま、事務局から会議の進行、プレゼンテーション審査について説明がありました。ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

(各委員 質問なし)

【会長】

おおむね、これまで確認しているとおりにかと思しますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、9月8日に笹田委員、村上委員のお2人がたんぼ福祉会が運営する「枚方たんぼ保育園」、晋栄福祉会が運営する「走谷ちどり保育園」の見学に行かれています。審査のご参考になると思いますので、そのときの様子について感想などを簡単に報告していただけますでしょうか。

【委員】

今回、たんぼ保育園と走谷のちどり園の2か所の見学に行かせていただきました。

たんぼ保育園は、書類審査でも分かるように、こちらがした質問1つに対しても10の回答が返ってきて、すごく分かりやすく、施設も子どもたちが安心して過ごせるように、広々と作られていました。また、食に関しては、安心・安全をモットーに、だしはいちから作るというこだわりがあったり、給食室は子どもたちみんなが見えるように作られていたり、とても良かったです。

走谷ちどり保育園は、施設は綺麗で、全面ガラス張りで開放感はありましたが、人数に対して少し狭い印象を受けました。こちらでも食に対してこだわりがあり、アレルギーの子どもでもみんなと同じ給食が食べられるように、牛乳と卵を使わないという取組みがありました。また、家ではあまり食べない、ひと手間かけないと食べられないもの、例えば西京焼きなどを提供しているそうです。カレーなど、家でよく食べるものは出しませんと言っていました。個人的な意見ですが、子どもはカレーが好きなので出してあげたらなというように思いました。あと、走谷ちどり保育園は、自分たちが運営法人として決まったかのような話の進め方をしていたのが少し引っかかりました。

以上です。

【委員】

同じ印象を受けましたが、1つ気になったのは、走谷ちどり保育園では、廊下はすごく広々としているのに、折り畳みではなく重ねるタイプの机を、廊下の窓際に重ねて置いていました。危なくないですかと聞いたところ、普段は部屋の中にしまっていますが、今は運動会前であり、お部屋で運動会の練習をしていましたので廊下に出していますとのことでした。でもその少しの時間でも、子どもが机の上に乗って窓から落ちたらどうするのかとすごく思いましたし、せっかく広い廊下なのに、もう少しうまく活用すればよいのではと感じました。

以上です。

【会長】

ありがとうございました。それでは、ただいまから仮集計表をもとに意見交換をさせていただきます。事務局から仮集計表について説明をお願いいたします。

【事務局】

仮集計表は2種類お配りさせていただいております。1つは、前回お配りさせていただいた白黒のものであり、もう1つは、今回新たにお配りさせていただいたカラーのものとなっております。

前回は、委員ごとに集計いたしました。意見交換のため、法人ごとの点数の差が分かるようにカラーのものを追加でご用意しております。書類審査の際に0点と満点の委員がおり、採点結果に委員間で大きな違いが見られた項目については、カラーのもので番号を赤で塗っています。なお、仮集計表では空欄も一旦0点としておりますが、空欄のため、点数に大きな差が見られた項目については赤色を塗っておりま

せん。

まずは、ご自身の採点を見ていただいて、他の委員の方の意見を聞いてみたい、また、プレゼンテーションで法人に確認したいという項目がありましたら、参考にしていただければと考えております。

なお、改めての確認ですが、審議の上決定した採点の考え方について、ご紹介させていただきます。

確認事項は、確認事項を満たしている場合は1点、確認事項を上回る場合は2点、確認事項を下回る場合は0点。提案事項は、実施可能な提案である場合は1点、実施可能かつ提案が優れている場合は2点、提案がない場合は0点となっています。各委員による採点となりますので、全員が同じ点になる必要はありませんが、採点の際に、改めてご確認をお願いいたします。

この後、委員の皆様は、仮集計表に基づき、意見交換を行っていただきますが、意見交換後、採点いただいた仮審査表を修正いただくことも可能ですので、よろしくをお願いいたします。

修正につきましては、今つけている丸を消しゴムで消していただき、黒鉛筆で修正後の採点に丸をご記入ください。なお、変更を行った場合は、一番左の番号のところにも丸をつけていただくようお願いいたします。

冒頭でお伝えさせていただきましたが、プレゼンテーションで採点いたしますN o 25、26、33以外の項目で空欄の箇所については付箋を貼っております。空欄箇所については、各法人のプレゼンテーション終了後に仮審査の時間を取りますので、その際に合わせて採点をお願いいたします。

説明は以上となります。

【会長】

ありがとうございます。

それでは、集計結果を踏まえ、委員の皆様からのご意見をお聞きします。意見交換の中で、より理解を深めていただき、その結果、採点を変更される場合は、適宜、仮審査表を修正してください。

また、事務局からも説明がありましたが、次回9月20日の選定審査会でも、仮集計の結果をもとに再度意見交換を行います。皆様、今の時点で何かご意見等ございますでしょうか。

(各委員 質問なし)

【会長】

よろしいでしょうか。

それでは、プレゼンテーションに進みたいと思います。仮集計表の委員間で点数の違いがある項目については、法人に質問する際の参考としていただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

プレゼンテーション審査では、限られた時間で法人のプレゼンテーションと質疑応答を行い、法人の最終的な評価を決めていくこととなりますので、質疑応答の進め方については、あらかじめある程度方向を決めておきたいと思います。

前回の選定審査会でもお話しさせていただきましたが、私の考えとしては、もし法人が選定された場合に、今後、長く法人と関わっていくことになる保護者委員や保護者委員以外の保護者全員の不安や疑問をこの時間でできるだけ解消していきたいと思いますので、保護者委員から疑問点などを中心に質疑を進めていただき、それに関してさらに気づいたことや補足的な質問があれば、他の委員も適宜質問をお願いいたします。

ただ、前回ありましたように、たんぼぼ福祉会は会計的な質問が今西委員よりあるということですので、たんぼぼ福祉会に関しては、最初に今西委員から会計的な質問をしていただきまして、その後保護者委員

の方を中心に質疑を進めていただきたいと思います。

時間が30分と限られていますので、時間は残っていないかもしれませんが、もし保護者委員からの質問が一定終わった時点で残り時間があれば、後になって恐縮ですが、地域の関係などについてご質問していただくというような形で進めたいと思います。

皆さん、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(各委員了承)

【会長】

それでは、そのように進めてまいります。

質疑応答は30分であり、法人間の公平性を期すために、法人によって時間の長い短いということはないほうがよいと思いますので、できるだけ30分の時間を守っていきたくと思います。

それでは、ただいまから「枚方市立保育所民営化に係るプレゼンテーション」を始めていきます。事務局にてプレゼンテーションの進行をお願いいたします。

【事務局】

それでは、法人に入室していただきます。

(法人1たんぽぽ福祉会 入室)

【事務局】

それでは、ただいまから「枚方市立保育所民営化に係る応募法人プレゼンテーション」を始めます。まず、自己紹介をよろしくをお願いいたします。

【法人】

たんぽぽ福祉会理事長の早瀬眞喜子といたします。よろしくお願いいたします。

【法人】

枚方たんぽぽ保育園園長の酒井眞澄と申します。よろしくお願いいたします。

【法人】

法人事務長の西島まゆみと申します。よろしくお願いいたします。

【法人】

大東市にあります津の辺保育園の園長の日野美保です。よろしくお願いいたします。

【事務局】

それでは、プレゼンテーションを始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【法人】

社会福祉法人たんぽぽ福祉会早瀬です。よろしくお願いいたします。

「笑顔が輝く桜丘北保育所の子どもたちとともに」、「こどもを真ん中に、保護者、職員が手をつなぎ、地域に開かれた保育園に」と題してプレゼンテーションを行います。

まず、たんぼぼ福祉会の理念ですが、わたしたちはすべての人が大切にされる社会福祉の発展に貢献します。また、子どものしあわせと平和な社会をめざします。

次に、法人の歴史ですが、私たちたんぼぼ福祉会の設立の経緯は、父母と保育者が共同で運営する保育所を、1972年に設立したのが始まりです。その後、認可保育所が欲しい、「ポストの数ほど保育所を」という住民運動の中で、1980年、枚方たんぼぼ保育園が誕生いたしました。2001年には暇たんぼぼ保育園、2004年につくし保育園、2009年に大東市公立保育所の民間委託をし、現在、4つの保育園を運営している法人でございます。

次に、応募の動機についてですが、私たちたんぼぼ福祉会は、中部地域に、本法人の理念に基づく保育園をもう1か所設立したいという思いを以前から持っておりました。特に、枚方たんぼぼ保育園やつくし保育園での保育が地域の中で広がり、「困った時はたんぼぼへ」が合い言葉になり、近年の子育て不安や、コロナ禍で子育ての孤立化が広がる中、その思いは一層強くなりました。

桜丘北保育所は、地域的にも本法人と近い生活圏にあり、中部地域に3つの保育園を有することで、40年以上の歴史と伝統を有する保育を、点から線、面へと広げ、枚方市の住民本位の保育行政の一役を担っていくことができると思い、応募させていただきました。

次に、法人経営についてですが、福祉は人なりと言われるように、社会福祉施設として、人財の役割は重要であり、私たちは人材の財を財産の財と位置づけ、人を大事にしております。また、限られた財源の中では、財源の有効活用として、無駄を省いて必要なものに財源をとという考え方で、法人内に組織・財政委員会、人事委員会を確立し、経営の安定化を図っております。

次に、保育所運営ですが、「子どもたちに最善の利益を」を基本に、施設長がリーダーシップを発揮し、民主的な運営を行っています。民主的な運営とは、意見の違いや少数意見も大事に学び合い、話し合いを基本に運営することだと考えています。この図にあるように、園長はピラミッド型の頂点ではなく、丸の中の中心に位置し、会議運営についてはパート、非常勤の職員も組織的に運営に位置づけ、全ての職員が運営に参画できるよう、工夫をしております。

さらに、保護者や地域の方々、自治会なども保育所運営に参画できるよう、会議体系、運営体系の確立を目指します。

【法人】

続いて、たんぼぼ福祉会が大切にしている保育と、桜丘北保育所で取組みたい保育についてお話しします。

私たちは、子どもたち一人一人を大切に、子どもを主体とした保育を保護者とともに作っています。

0歳児の赤ちゃん、笑顔がいいですね。0歳児保育の中では、楽しい遊びと心地よい生活の中で、保育者と安心できる関係を築くことを大切にしています。

自分のつもりが生まれてくる1歳児、みんなでバスに乗ってお出かけかな。友達と一緒に笑顔がいっぱいです。保育者が温かく、愛情深く、子どもたちのつもりを受け止めます。

2、3歳児クラスでは、友達と一緒にごっこ遊びをたくさん楽しみます。駄々こねやトラブルは成長中の矛盾として、子どもの思いをしっかり受け止めています。

4、5歳児クラスです。かっぱのひょうたんを見つけて、やったあ。クラス全員の気持ちが一つになった瞬間です。チームで何度も作戦会議をして、勝つためにみんなで力を合わせたリレー。竹馬の練習では、仲間と教え合い、励まし合って頑張りました。自分の思いを言葉にし、時にはぶつかり合いながら、何かあったときには話し合いで解決していけるよう、見守り、指導します。一緒に掘り上げたお芋のうれしさ

は格別。劇作りや共同制作、日々の生活と遊びの中で一緒に作り上げていく楽しさと達成感を味わい、一人一人がクラスの一員として自分の力を発揮しています。そして、保育の中でつけた力を土台に、小学校生活への憧れと自信を持って就学していきます。

障害のある子どもや配慮の必要な子どもたちの受入れも積極的に行っています。その子自身の気持ちを大切に、一緒に過ごすクラスの子もたちとの育ち合いを大切にしています。

一時預かり保育でも、保健センターや発達支援センターからの紹介を受け入れています。

開園当初から、食べることは生きることとして、食育に取り組んできています。好きなものをいっぱい食べて、おなかがよく子どもに、食べることが大好きな子どもにと願い、災害やクッキングなど、工夫ある食育に取り組んでいます。

枚方たんぼぼ保育園では、調理する人の顔が見えるオープンな給食室が特徴です。また、栄養士が専門性を生かし、保護者の相談に応じたり、レシピ集を発行しています。開園当初から、あそぼう会や青空保育など、地域の子育てを支援する取組を行ってきました。枚方たんぼぼ保育園には、大阪府知事認定スマイルサポーターが私を含め6名在籍し、子育ての悩みや様々な相談を受け入れています。子育て新聞の発行もしています。枚方たんぼぼ保育園では、オープンキッチンのある子育て支援ルームを開設しています。また、校区コミュニティの皆さんとも連携し、地域の一員として根づいています。

職員の質の向上、職員の育成について、子どもたちによりよい保育を行っていくためには、職員の資質の向上が重要です。そのために、法人で研修体制を確立し、積極的に外部研修、園内研修、法人研修に取り組んでいます。園内研修では、主任保育士やリーダー保育士が中心となり、少人数形式で発達や遊びなどについて文献学習を行っています。研究者である理事長が助言者として参加しています。法人研修では、全職員研修のほかに新人研修、中堅研修、職種別研修などを行い、お互いの実践に学び合っています。また、毎月の会議や総括会議では、給食や保健担当も一緒に参加して、保育記録をもとに保育を振り返り、考察し、自己評価をしています。「よりよい保育のために」の思いを共有し、自己研鑽していくことが重要と考えています。法人職員として、助産師や公認心理士が在籍していることもたんぼぼ福祉会の特徴です。専門性を生かした相談活動を行い、深刻な子育て不安や職員のメンタルケアに力を注いでいます。保育実践をまとめて、研究会で報告、発表を行い、節目に実践集を発行することも、職員の資質向上につながっています。

次に、保育所整備の考え方について述べます。

私たちは、桜丘北保育所の現地見学会で、先生方が日々を大切に子どもたちと共に保育してこられた思いを感じることができました。園舎は建替えを行います。先生方の思いを引継ぎ、さらに発展させていく条件づくりと捉えて整備していきます。新しい園舎は、木のぬくもりが感じられる大きなおうちをイメージし、子どもたちが楽しく過ごす居場所づくりとなるよう、考えています。園舎は2階建ての建物とし、1階に0、1歳児保育室を、2階に2歳から5歳児保育室を配置し、0歳、1歳、2、3歳、4、5歳をくくりとしてフロアごとのつながり合える空間を作り、孤立させない保育をしていきます。各保育室は開口部を大きく取り、明るく風通しのよい空間に、床暖房も導入します。給食室は調理の様子が見える形などを考えています。広い遊戯室と多目的スペースを確保し、ダイナミックな活動を伸び伸びと保障、可動間仕切りで必要に応じて空間の使い方を工夫します。地域交流や子育て支援、地域防災など、地域に開かれた保育所として、地域コミュニティとのつながりを大切に、子育て文化を紡ぎ出していく場を作ります。そして、園舎を2階建てにすることで、現状よりも広い園庭を確保し、小さな森で日常的に自然に触れられる環境を作ります。子どもたちや保護者の思いを聞きながら、大型遊具の設置を検討します。また、駐車場、駐輪場、ベビーカー置場を敷地内に作ります。

共同保育から出発した私たちは、常に保護者の皆さんと共に歩んできました。子どもを第一に、保護者

の皆さんの思いをくみ取り、たった一人の小さな声も大切にしてきました。運動会では、保護者とメダル作りや竹馬作り、準備や片付けも一緒に取組み、ついこの土曜日にも、園児のおじいちゃんが園庭の草引きに来てくれるなど、たくさんの方の力をいただけてきました。これから、新しい出会いの中でも、これからの桜丘北保育所と同じく、保護者、地域から信頼され、頼りにしていただけるよう、子どもの育ちを共に喜び合い、力を合わせて、在園中も卒園後もつながり合える保育所になっていきたいと思いをします。

【法人】

次に、引継ぎについてお話しさせていただきます。

私たちの法人は、2009年、大東市の公立保育所の民営化を受託しました。私は、引継ぎの経験を踏まえ、引継ぎをこのように考えます。引継ぎで一番大切にしたいことは、こどもを真ん中に、みんなで手をつなぐということです。子どもが安心できることを共通の目標にして、保護者と公立、法人保育士、そして枚方市が手をつないで協力し合える関係を作ることが一番大切だと思っています。

次に、何を引継ぐのかということです。私たちは、保育は文化、保育は人と思っています。だからこそ、引継ぎは机の上でできるものではなく、共同保育の中で実体験しながらの引継ぎを大切に思っています。桜丘北保育所の歴史や文化から培ってきた保育を引継ぐこと。そして、保育園の主人公である一人一人の子どものこと、好きな遊びは何、気の合う友達、苦手なこと何かな、などを知りながら、安心できる環境を作ることを大切に引継ぎます。2024年度、移管後の保育は、子どもが安心できることを最優先に引継いだ保育を丁寧に行います。

これは14年目の津の辺保育園の公立時代の卒園制作です。何度か修繕し、残せるものは大切に残しています。

最後に、信頼していた先生たちが3月31日を境に急になくなることは、子どもにとってはやはり悲しいことです。保護者にとっても引継ぎはこれで十分ということはないと考えます。移管後も皆さんの助言をいただき、協力し合いたいと思いをします。子どもは社会の宝、子どもは未来です。子どもにとって安心でき、楽しい保育園になるように、地元枚方の私たちたんぼ福祉会が共に頑張ります。子どもの笑顔が一番です。

ご清聴、ありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。それでは、ただいまから質疑に入ります。時間も限られておりますので、回答については簡潔にお願いいたします。

それでは、委員から質問したいと思います。

【委員】

決算書等を確認したところ、内部留保もすごく貯めておられて、すばらしい経営状態かなと思いをしながら拝見しておりました。

様式6資金計画書を提出いただき、資金繰り内容のところを拝見しますと、借入額はそれほど多くなく、施設整備積立金や修繕積立金、備品購入積立金を目的外使用されて資金を確保されるお考えのようですが、施設整備積立金などは従来経営されている保育所の方で積立てされていたかと思いをします。積立金を取り崩されて、民営化の施設整備に充てられることは、他の園の経営に関して問題ないのか、お尋ねしたいと思いをします。

【法人】

ほぼ積立てを取り崩すということですので、大丈夫かとおっしゃるのは当然だと思いますが、これまでも、子どもたちの処遇のために施設の建設や整備をしたり、駐車場の土地を購入したりということで、計画的に使ってまいりました。当法人はベテラン保育士も多く、人件費率もすごく高いため、積立てもそれほど多くないというように思っており、ベテラン保育士をバランスよく配置し、人件費率も少し抑えるようにして、これから積立てもしていきながら、安定的な経営をしっかりとしたいと思っております。今回は思っていたよりも建設資金の負担がありそうで、少し不安もあります。これまでも何とかそういうかたちで、経営してまいりましたので、今後もそのように運営していけるかと思っております。

【委員】

分かりました。留保してくださっているの、それほど問題ないかなと思ひながら拝見しておりましたが、これから先、資金繰りされると思いますので、福祉医療機構などいろいろお考えいただいて、進めていただけたらいいのかなと思ひました。

最後は感想です。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

【委員】

仮設園舎は小松製作所のところを予定されていると思うのですが、あそこはカーブで交通量も多く、スピードの出るところで危ないというように前々から枚方市には伝えていたのですが、それは伝わっていますか。

【法人】

はい、聞いております。現地を見に行かせていただき、私たちの法人に、桜丘北地域に住んでいる職員も実際におりますので、話を聞いて、やはりあそこはとても危険な場所だということは認識しております。ですので、できるだけ奥まったところに園舎を建て、中に園庭と、手前に駐車場を配置しまして、車が直接園庭や園舎に突っ込むといった事故の起きないように配慮をする建設を考えています。送り迎えの時間や出入りが多い時間帯には、警備員を配置して、安全の配慮をしていきたいと思ひています。

【委員】

警備員は1人ですか。朝の時間も交通量は多いと思ひます。

【法人】

朝の時間帯の実態を見ながら、必要に応じて警備員を配置していきたいと思ひています。枚方たんぼぼ保育園でも、駐車場を借りていますが、車の通りが多くとても危険な地域であり、時間帯によっては駐車場待ちの自動車がたくさん並ぶこともあり、その時間帯には本当に人をかけて見守りをしておりますので、そのように考えています。

【委員】

保護者会はもちろんありますよね。

【法人】

はい、あります。この土曜日にも一緒に話をする機会を持ち、一つ一つ話をしながら、お互いの思いや

状況を共有しながら、保護者会の皆さんと力を合わせて、園の運営を進めています。特にこの2年間はコロナ禍で、集まったり一緒に話をする機会が持てませんでした。枚方たんぼぼ保育園では保護者会ではなく、父母の会という名前ですが、その2年の間に保護者会のほうでも、どのようにこれから活動していけばよいのかと随分悩まれているというのが現状です。ですので、コロナ前に戻るといよりも、コロナを経験して、新しい保護者会と私たち園と職員とみんなでどういう関係で、どのように進めていくか、新しい形を見つけ出していこうと再出発をしているところです。桜丘北保育所の保護者会の皆さんともそのようにできたらよいなと思っています。

【委員】

少し前の新聞で啜たんぼぼ保育園の記事を読みましたが、保護者、子ども、先生というつながりもしっかりされているとすごく実感しました。見学に行っても、しっかりと考えておられるし、給食に関してや、医療的ケア児の積極的な受入れもさすがだなというように思いました。

【法人】

理事長です。私ももともと枚方の公立保育所で働いており、禁野保育所に10年いたので、枚方たんぼぼ保育園の地域も桜丘北保育所の地域もよく知っています。たんぼぼ福祉会は、地域の中で保護者と共にと、設立の経緯もお話しさせていただきましたが、保護者と職員と一緒に保育を作っていくということ、この四十数年間貫いてきています。子どもを真ん中にと、このコロナで大変厳しい中ですが、さらに桜丘北保育所でも保護者の皆さんと共に保育を作っていく、そこを大事にしたいなと思っています。先ほどもありましたが、何よりも子どもの笑顔、子どもがやっぱり今日も保育園行きたい、また行こうという、そこが一番原点かなと思っていますし、地域の中で見守られながら、桜丘北保育所が発展していくということを大事にしていきたいと考えております。

【委員】

保育料もですが、何か値上がりは発生しますか。

【法人】

今現在は考えておりません。今は何もかも値上がりしており、本当に保育園の財政も厳しく、これからますます厳しくなるのではないかと予測しているのですが、枚方たんぼぼ保育園も、法人のほかの保育園も、必要以上の経費などは徴収しておりません。本当に今後絶対大丈夫かと言われたら、それは情勢にもよるかと思いますが、値上げをすとか、今以上に徴収をするという予定は今のところありません。

【委員】

この間見学させていただき、一つ気になったのが、本棚が結構高い場所にあり、危なくないですか。子どもが登って落ちたりするということはないですか。

【法人】

本棚については建設のときの事情があり、高いところに本棚がありますが、子どもたちが読みたい、小さい子どもたちが手に取りたい絵本を下のほうに配置し、上のほうに配置する絵本は大人が見たり、大人が読んであげたい絵本とかを配置しています。子どもたちもやはり上のものも取ってみたいと思いますので、自分で取ろうとしたり、取ってと言ったりはしますが、今まで事故が起きたことはありません。

【委員】

ここだけは他園に負けてない、何かここは自慢できるといったことはありますか。

【法人】

そうですね。見ていただいたように、本当に子どもたちのためということで、精一杯考えながら職員全員で保育をしています。本当に子どもたちの笑顔が何よりも自慢です。本当に素直で伸び伸びしています。子どもたちが伸び伸びしていて、言いたいことが言えて、困ったことが困っていると言えて、お友達のことをすごく心配したり、気かけたりする、それが自慢です。やはりいろいろな保育をしている中での子どもの姿として、私たちの大切にしているところが表れているのだろうといつも思うのですが、本当に伸び伸びしています。

【法人】

付け加えるとしたら、今、法人の理事長をしていて、去年までは保育士養成の大学に教員でいたのですが、たんぼぼ福祉会の先生たちは、本当によく勉強されます。私もたんぼぼ福祉会、枚方たんぼぼ保育園にもう10年前ぐらいから、どういう保育をしたかということ、実践に基づいて、今日何々ちゃんこんなやつたよ、どうやったかな、そのことがどういう意味を持っているのかな、ということで文献と照らし合わせながら学習をしています。それをずっと積み重ねているので、やっぱり保育が楽しいですね。子どものこの行動はどういう意味があるかということ、きちんとして学習していますので、1歳で駄々こねの話もありましたが、やっぱり親にとって育てにくいと感じる嫌々とか駄々こねは、子どもにとっては成長発達の上っていく節です。そこをやはり保育士が受け止めて、何々ちゃんこやね、お母さん、お父さんとも、今こんな姿ですよということを、今は少しコロナでお話ししにくいですが、きちんと、お手紙や懇談会などでお伝えしています。私も枚方たんぼぼ保育園と5年間ぐらい一緒に共同研究しており、学ぶ集団づくりや、そのような形で資質向上とか、とてもよくやっていると、実践集にもまとめています。実践をまとめて書くというのは、かなり大変な作業ですが、本当によくやっています。それに私とか、研究者の方がコメントしたりしていますけども、その取組みも自慢できると思います。

【委員】

保護者の仕事が休みの日でも、ちょっと子どもを預けたいという方もいると思いますが、やはり民営化されると、保護者が休みだと子どもも休ませてくださいという法人もあるのですが、たんぼぼ福祉会さんはどうですか。

【法人】

保育士の労働時間を守らなければならないということもありますので、土曜日など子どもの登園が少ないときには、交代勤務で、職員もお休みさせてもらうというような勤務形態を取っています。土曜日についてはもしご協力をお願いできるようでしたら、お休みをしてくださいというお願いはさせていただいています。ただ、やはりご家庭によってはいろいろな事情がありますし、そのときそのときによって、子どもの状態もあるし、お母さんとお父さんの状態もありますので、必ず休んでくださいというようなことは全く言っておりません。なので、保護者の方がお休みでも登園している子どももいますし、お休みできるときにはお休みして、おうちで、家庭でゆっくり過ごして、でも保育園に行きたいときには来てっていうことで受け入れています。

【法人】

最終的には子どもを預けるかどうかは親の権利だと思います。平日でもお母さんがお休みなので自分で見たいと思えば見てもいいですし、やはり子どもも集団の中で育つというところで、私たちも毎日、日々積み重ねていっている保育ですので、そこは保護者と職員の合意形成もあると思いますが、最後に決定するのは保育園ではなく保護者だと思います。土曜日は家庭での保育を希望しますが、平日は基本的にはお願いしてないですね。

【法人】

平日は家庭保育のお願いはしておらず、土曜日のみお願いしています。

比較的土曜日でも、割と登園数は多いほうかと思っています。子どもたちも平日とは違った雰囲気保育ということで、とても楽しく過ごせています。

【副会長】

ありがとうございました。とてもよい保育を展開されているというのがよく分かりました。

2点ほどあり、1点は教えていただきたいことで、もう1点はお願いといえますか、お伝えできたらと考えています。

1点目は、津の辺保育園では、公立保育所の運営の移管を受けてということで、しっかり引継ぎをされていると思いますが、その中でここはずっと大切にしているといったことがあれば、エピソードなども含めて教えていただきたいです。

2点目は、法人としても中部地域で3園目ということで、点から線へ、そして面へというような展開であり、面としてというのは、とても大切なお提案かと思っています。そういう意味で、枚方市の保育を支えていただくとても大切な法人かと思っています。3園目としてこの面的な展開をされるとなったときに、近いがゆえにいろいろなサポート関係も作りやすいと思いますが、先ほど資金のお話もありましたが、逆に、新しいところに力がいってしまうと、ほかの2園もとても大切な園だと思います。そのあたりのバランスもぜひ保っていただいて、本当に面として支えていただくような、そういう展開をしていただけたらと考えています。

【法人】

引継ぎで大事にしていたことについては、私が大東市の公立保育所の民営化を引継ぎましたので、エピソードも含めてお話しさせていただきます。

やはり一番大事にしたのは、子どもが不安にならないこと、安心できること、そのためにはずっと現場にいる公立の先生と、いろいろな話をして仲良くなること。保護者の方に協力してもらうこと。子どものことで、保護者の方が、市にも、いろいろ不安なことや、意見を言われたりすることもあったのですが、そのときに市も本当に一緒になって考えてくださいました。子どもを真ん中に置いて、一緒に考える立場になってくださったことが本当にありがたかったです。

エピソードとしては、引継いだときに、5歳児の女の子が、公立の保育士がいなくなり、すごく大好きだった先生がいなくなったことと、工事が始まり、その音が怖いということで、その2つの理由で登園しなくなったことがありました。公立の先生と一緒に訪問して、どうしたのと聞いたり、担任と一緒にいたりもしました。私もすごく悲しい気持ちになったので、公立の元担任の先生にお話ししたときに、その担任の先生が、「大丈夫、先生たちだってやれるから大丈夫だよ」と言って、すごく励ましてくださりました。そのときにお母さんも、「もちろん先生がいなくなったことも子どもにとっては悲しいことだけ

ど、工事の音も子どもにとってはしんどいことだと思います」と言っただき、お母さんとも話をして工事の音が聞こえないイヤホンを用意して、そのイヤホンをつけて登園するようになりました。きっと大人がみんなその子のことで手をつないでいろいろ考えたことで、その子はおそらく自分が大事にされているとってくれたのかなと思います。その子は、もう高校生になっていますが、中学校ぐらいになってもそのイヤホンを持って遊びに来てくれていました。

【副会長】

とても環境を大切にされているということがよく分かりました。ありがとうございました。

【委員】

先ほどの説明の中で、地域のコミュニティと交わっていくとお話しされていたと思います。桜丘北のコミュニティという団体、組織があり、そういう地域の方のいろいろな催し等があると思いますが、そこにどう交わっていくのでしょうか。地域の中で子育てのサロンとかがされているときもあります。先生方ももし呼ばれたら、そこで何かお手伝い的にお話をさせていただいたり、外のお遊びもあると思いますが、そういうところで、園の子どもだけではなく、地域の他の子どもとも交わる、そういうほかの児童と交わるということ具体的どこかでされていたり、何か考えていらっしゃるでしょうか。コミュニティという言葉が出ましたので、地域とどう交わり、交流というものがあるのかなと思いましたので、教えていただきたいと思っています。

【法人】

コミュニティの皆さん方には本当に気にかけていただいております、具体的には民生委員さんたちがされている子育てサロンに、担当保育士が行って、一緒に子どもたちと関わるということをして続けておりました。コロナが広がって、サロンも開かれなくなってしまったので、その取組みは中断していますが、また始まれば協力させていただきたいと思っています。

また、地元の中で本当に長い年月、お祭りに取組まれていましたが、だんだん私たちの地域も高齢化が進んできて、中心になっておられた方々も高齢化でおじいちゃん、おばあちゃんになってきているのですが、保育園としても参加して、一緒に関わってお祭りの遊びコーナーや、子どもたちが盆踊りを踊るとか、太鼓をたたいて皆さんに見ていただくとか、お神輿を担いで歩くとか、そういうことをしてお祭りを盛り上げるといった協力をさせてもらっていました。情報交流も、コミュニティの会長さんが時々ぞいでくださって、今こんなやけど困ったことはないかと、よく声をかけてくださるので、本当にそれがありがたいと思っていますし、いろいろなコミュニティの中の委員さんが、運動会の日程を必ず聞いてくれます。運動会はいつもすぐ近くの禁野小学校を借りていますが、それもコミュニティの皆さんのご協力とご理解のおかげで貸していただいています。そういうことをしてきている私たちですので、桜丘北保育所のその地域のこともまず知らなければならないというように思いますし、どのような方が住まわれていて、どのような状況で、本当に子育てがどのような状態なのか教えていただきたいですし、交流もさせていただきたいなと思っています。

【委員】

よく地域の活動内容をご存じだなと思ってお聞きしていました。桜丘北のほうも、そういうお考えであれば、十分安心かなと思いました。ありがとうございました。

【会長】

新たに民営化を受けると、やはり気になるのは、保育士の確保のところかと思います。新しく1園受けるということは、今以上に保育士を確保しないといけないということになると思いますが、保育士確保についてはどのように考えておられるか教えてください。

【法人】

理事長が保育士養成の大学の教員ということで、そちらからも学生を紹介していただいたこともあります。養成校とのつながりや実習生も多く来ておりますので、実習生の中でつながったりということもあります。職員雇用はどこの保育園も本当にすごく大変で、私たちも正直大変です。いろいろな企業さんの力も借りないといけないかなというところもあるかと思っていますが、何とか職員の雇用を頑張りたいと思っています。

【法人】

雇用については、私も養成校の教員を去年までしており、まず実習生を大事にしようというところがあり、実習に来ていただいた学生に就職してもらおうということがあります。津の辺保育園では畿央大学から来た学生が実習に来て、働いてくれており、私のゼミ生も過去に何人か働いてくれており、私も今は退職していますが、養成校にお願いしようかと思っています。他にはやはりつながりですね。私たちは、つながりをたくさん持っていますので、そのつながりから採用していくということがあります。どうしても駄目なときは資金面での負担はありますが、派遣会社に入ってもらおうということもあります。派遣会社からも、今何人か来てもらっており、派遣会社も含めて雇用していきたいと考えています。

また、調べたところ、法人の正職員が今57名ぐらいいますが、20年以上が15名で25%ぐらいの比率になっています。働き続けられる職場だと思っており、基本的には新採を採用するつもりですが、枚方たんぼぼ保育園とつくし保育園が近いため、既職者の異動も考えられますし、枚方たんぼぼ保育園やつくし保育園に新しい人を採用したり、今後検討していきます。民営化後の施設長予定者は決まっていますが、枚方たんぼぼ保育園の次期園長や副園長とかは、民営化の受託が決まってしまうと来年度の人事異動を考えて採用、異動という形で考えていきたいと思っています。

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、「枚方市立保育所民営化に係るたんぼぼ福祉会のプレゼンテーション」を終了させていただきます。退出してください。

【法人】

ありがとうございました。

(法人1たんぼぼ福祉会 退出)

【会長】

それでは、法人1たんぼぼ福祉会のプレゼンテーションが終了しましたので、これより仮審査を行います。まず、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、説明させていただきます。

仮審査はお配りいたしました仮審査表に記入していただきます。前回第4回選定審査会の書類審査で、プレゼンテーション後の採点のため空白としている項目、No.25、26、33を中心に採点をお願いいたします。プレゼンテーションを聞いていただきまして、そのほかの項目も修正いただくことも可能です。

採点は、先ほどお伝えしたとおり、黒鉛筆をご使用いただきまして、追加で採点、修正した項目は、一番左の番号のところにも丸をお願いいたします。合わせて、付箋を貼っております空欄の箇所についても採点いただき、仮集計表にて委員間で大きな違いが見られた、番号を赤で塗っている項目についてもご確認をお願いいたします。約10分時間を取らせていただきまして、終了2分前に、事務局からお知らせします。

お手洗い等の休憩については、仮審査や法人入替えが5分程度ありますので、そのときに適宜お取りください。

それでは、採点をお願いします。

(各委員採点)

【会長】

それでは、仮審査の採点は終わられたようですので、続いて、法人2晋栄福祉会のプレゼンテーションをさせていただきます。事務局より、よろしくをお願いいたします。

【事務局】

それでは、法人に入室していただきます。

(法人2晋栄福祉会 入室)

【事務局】

それでは、ただいまから「枚方市立保育所民営化に係る応募法人プレゼンテーション」を始めます。まず、自己紹介をよろしくをお願いいたします。

【法人】

法人理事長の濱田と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。

【法人】

施設長予定者の川村でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

【法人】

走谷ちどり保育園の宮澤でございます。よろしくをお願いいたします。

【法人】

施設整備担当の矢野と申します。よろしくをお願いいたします。

【事務局】

それでは、ただ今からプレゼンテーションを開始いたします。よろしくお願いいたします。

【法人】

改めまして、本日は貴重なお時間を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。

本日は一旦私のほうでご説明させていただき、後ほどご質問等の際は、それぞれの担当が回答させていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

私ども法人は、1979年昭和54年に法人を設立しました。当時も待機児童が非常に多いということで、地域の要望があり、設立しております。その後、特別養護老人ホーム、ここに記載はございませんが、障害福祉サービス等も地域のニーズがあり、経営しております。

2009年平成21年頃から、私ども職員も含めまして、保育所の待機児童に対応するというので、近年は保育園、並びに認定こども園の整備が多くなっております。

法人理念につきましては、記載のとおりです。2番目「前進と振り返り、時に回り道もよし」は、振り返りといいますか、失敗することもありますので、少し反省をしながら、また改めて歩いていく。そのような内容を記載しております。

本年度の法人全体の事業方針として、それぞれのバリアフリー宣言を掲載しております。これは、下のほうに経過を記載しておりますが、昨年度、認知症官民協議会で、この「認知症バリアフリー宣言の試行事業」に選定いただいたことがあります。法人全体で実施するというので、介護分野で非常に多く事業、施設運営しておりますが、保育所、認定こども園、並びに障害分野におきましても、それぞれの立場で何かできることはないかと、試行錯誤しながら対応しており、ご紹介させていただいております。

応募の動機・目的については、主には3つございます。まず、今回再公募と伺っており、私どもも、枚方市で走谷ちどり保育園を運営させていただいている中で、何かお手伝いできることがあればということがあります。

2番目は、働き方改革へのお手伝いということですが。

3番目は、法人内の連携した機能の反映ということで、近い地域で複数施設あることから、例えば保育士、職員も継続して勤務が可能になるということもありますし、それぞれ切磋琢磨できるということもあり、記載しております。

代表者及び施設長予定者の法人経営及び保育所運営に係る考え方については、法人の経営方針として、「いつでもどこでも誰でも」利用できるサービス提供を目指すということがあります。法人設立時に保育所を開設させていただき、2000年を過ぎてからも保育所の運営の機会をいただいておりますが、その動機として、法人で保育所を経営するものの、その保育所の職員が保育所に入園できず残念ながら仕事を辞めなれないといけないということがあり、これらのことを解決できる方法が何かないかというところですが。もちろん子どもたちあってということもございますので、そこは調整をしながらということもございます。

保育所運営方針として、地域ニーズに応えるための創意工夫をあげております。

また、保育環境整備と専門性の向上をあげております。基本的には、考え方は法人内で同じ考えを持っておりますが、やはりそれぞれの地域の特色、それから保護者の皆様のニーズということもあり、各園の施設運営については、地域ごとに対応しています。

保育理念は、記載のとおりですので、何とぞよろしくお願いいたします。

保育方針は、思いやりと生きる力を養う、その他5つの方針を掲載しております。

法人の方針として、社会福祉法人の制度改正もあり、透明性の向上として、ホームページその他で発信しております。その中で、日々の業務において、利用者の皆様に、子どもたち、そして保護者の皆様、ご

家族の皆様にごどのようなサービスを提供するかということではありますが、それ以外に地域で何か隙間から漏れるニーズがあるだろう、公益的な取組みを実施することについて、各施設において取組ませていただいているところです。一例ですが、記載のとおり、内容などの取組みを掲載しています。

次に保育の質の向上や職員の育成についてですが、これは法人全体の研修委員会で、それぞれの年数等においてJ1研修（初級）、J2研修（中級）、J3研修（上級）とし、全体でキャリアパス、育成研修を実施しております。それぞれ種別や職員の違いはありますが、違いを超えて、法人内で何年というところで研修を受けるようにしています。

一方で、施設ごとの研修として、昨年度の走谷ちどり保育園の研修実績を記載しており、概ねこういう形で研修を受講しています。横の交流も必要であり、年に一度、法人研究発表大会を開催しております。法人職員の中で参加する人数は大体400名から500名ぐらいになるため、分科会も設けており、それぞれ発表を行っています。

桜丘北保育所を引継ぐにあたっての法人の考え方については、当然のこととして、枚方市様のご指導のもと、合同で保護者説明会の開催を行います。また必要に応じて随時開催という計画を立てております。また三者懇談会は移管前、移管後、各1年間設置させていただきます。

また、引継ぎにあたっての考え方として、移管1年前から施設に随時訪問させていただき、共同保育につきましても、保育士、看護師、また調理関係者も可能であれば引継ぎを受ける形で考えています。共同保育は配置時間数を遵守して、各クラスに保育士による引継ぎを受けるように努めます。これは引継ぎにあたっての考え方のイメージとなりますが、記載のとおりとなります。

保育所整備の考え方については、主なものにつきまして、少しご説明させていただきます。

まず、保育内容として、当然のこととなりますが、現在の保育時間を維持しつつ、ご要望に応じた対応を検討いたします。時間外保育につきましては、別途料金は設定いたしません。障害児や医療的ケア児の受入れに向けた勉強会を開催し、対応していく考えです。

それから、駐車場・駐輪場について、送迎時に一時駐車できる駐車場等を整備させていただきます。

以下については、記載のとおりですので、大変恐縮ですが、またご確認ください。

その他として、現在、法人内の保育所の年齢構成を記載させていただいております。また、経験豊かな公立保育所出身の園長の状況についても記載しております。

参考に、走谷ちどり保育園の主な年間行事とデイリーも記載しています。

それ以外に、横断的に委員会を設けており、最近は非常に重要な採用委員会もあり、保育士のスキル、その他、職員の人材確保に努めているところです。

感染症対策としては、きっちりとした感染対策を行っており、一例を記載しています。

オレンジリボン推進委員会ということで、いわゆる虐待防止委員会という名称で研修を開催しております。

以上でございます。どうもご清聴ありがとうございました。

【会長】

ありがとうございました。それでは、ただいまから質疑に入ります。時間も限られていることから、回答につきましては簡潔によろしくお願いいたします。

委員の方から質疑をお願いいたします。

【委員】

応募の動機・目的について、1の枚方市への貢献に対する強い思いというのは、具体的にどういうこと

ですか。

【法人】

先ほども少しご説明しましたが、今回、再公募と伺っており、応募させていただいたところです。

【委員】

応募したことが貢献ということですか。

【法人】

もちろん、実際開設した場合は、やはり皆様に安心してご利用いただけるということが一番かと思っておりますが、今の段階ではそういうところもあります。

【委員】

再公募に対する応募ということですか。

【法人】

そうです。

【委員】

保護者会はありますか。

【法人】

走谷ちどり保育園は、運営移管後に保護者会は解散されています。それについては保護者会の方の要望でそのようになったと伺っています。

【委員】

もし、桜丘北保育所を民営化した後は、保護者会は続けてもいいということでしょうか。

【法人】

もちろんです。

【委員】

民営化後に、保護者の方のお仕事がお休みであれば、その時は子どもさんもお休みさせていただきますという話を聞くのですが、そのあたりはいかがでしょうか。

【法人】

基本的には、保育を必要とする時にお預かりするというのですが、ご家庭によっていろいろなご事情がありますので、もう頭からお仕事がお休みだったらお子さんもお休みですということではなく、事情をお伺いしながら対応させてもらっています。

【法人】

現在、お母様方、お父様方、日頃お仕事されておりますので、自分の時間を少し持ちたいとか、いろいろな思いをお持ちです。そこのところは、今日は仕事がお休みで、この時間からこの時間はこちらにいるので連絡はこうしてくださいといったやり取りを担当としていただいて、お預かりしています。

【委員】

走谷ちどり保育園では、民営化になったときに、引継ぎについて時間数が足りなかったり、引継ぎに職員が参加できないということがあったと思うのですが、なぜそういったことが起きたのですか。

【法人】

走谷保育所の引継ぎの際は、共同保育の期間が1月からの3か月間、園長については4月から1年間ということであり、事前に確保していた職員の退職等があり、引継ぎに行けない日が出たということはございました。

今回は、枚方市に走谷ちどり保育園がありますので、100%ということは申し上げられませんが、そういったことがないように努めてまいりたいと思っています。

【委員】

もし起こった場合はどう考えられていますか。

【法人】

そのようなことが起こらないように、別の職員を検討するなど、その時点で考えてまいりたいと思っています。

【委員】

保育所見学させていただいた際に、運動会の練習を部屋でされていたということもあると思うのですが、広い廊下があるのに、机が積み重なっている状態でした。窓があつて、網戸の状態で机が置いてあると、万が一子どもが机に乗って網戸を開けてしまったり、押ししてしまうという事故にもなりかねないと感じました。

また、定員が90名のところに120名のお子さんがいらっしゃるのですよね。部屋が狭く感じたのですが、そのあたりはいかがでしょうか。

【法人】

保育所見学の際に言っていただいた意見について、たしかにそうであるなというように感じました。あの日は熱中症のアラートが出ていたので、運動会の練習を外でできず、5歳児は部屋の中で練習をしていたということでしたが、終了後はすぐに机を戻すように気をつけていこう、少しの時間でもやはり危ないよねと、職員と話をさせていただきました。ご指摘については、大変ありがたかったと思っています。

【法人】

部屋の広さについては、走谷保育所はもともと90名定員でしたが、建替えの際に120名定員ということで計画させていただいています。保育所の部屋の広さは、例えば2歳児以上は1人あたり1.98㎡の広さを確保してくださいといった、細かな規定があります。その規定を満たして設計しておりますので、保育

園の規模としては120名、十分受け入れることができるサイズの建物を用意しておりますので、何も問題ないというふうに考えております。

【副会長】

ありがとうございました。法人さんとしての豊かな事業展開というのはとてもよく分かりました。

その中の保育でいうと、前の保育所保育指針ではなく、現行の保育所保育指針に基づいて、どのような保育を展開されようとするのか。豊かな保育というのはどのようにお考えになっているのかが1点目です。

今回、プレゼンテーションの中に、「認知症バリアフリー宣言の試行事業」に選定されたということがありました。その中で、障害児さんのことも取組むというお話もありましたが、提出いただいた資料の中では取組みが分からなかったもので、例えば障害児さんに対してどのような豊かな保育をしていこうと思われているのか。その辺を追加で教えていただきたいというのが2点目です。

最後に、1点目・2点目とも関わりますが、今回、民営化で公立保育所を引継ぐというところで、何を大切に引継いでいくのか。それをどのように具体的に引継いでいこうとするのか。そのあたりを教えてくださいたいです。

【法人】

障害児のお子様に関しては、ほかの子どもたちと、同じクラスで共に育ち合いましょうということで保育しています。お子様によっては、支援の担任がつくこともございます。そちらのほうは市の指導により、2対1、3対1、または1対1というように職員を配置し、保育のお預かりをしております。

【法人】

障害がおありのお子様に限らず、やはりお子さん一人一人というのは、育ち方や育つ過程も違います。そのあたりを1歳児や3歳児だとかという枠で大きく決めつけてしまうのではなく、お一人お一人の発達の状態とか、それを取り巻く家庭の環境とかいろいろなことも含めて、このお子さんはどういうところがしんどいからこういう行動が出るのかなとか、そういうところを一人一人きちっと見させていただくというところを大事にしていくことが必要だと思います。

【法人】

最後に、引継ぎの全体的な考え方について、私どもの法人は、過去にも何か所か民営化で引継ぎをさせていただいており、基本的には現在行われている保育であったり、可能であれば働いている職員の方も、同じ形で引継ぎできれば一番いいなと思っております。もちろん引継ぎの中で、保護者の皆様や、あるいは子どもたちのほうから、ここはこうしてほしいという、新たなご要望があれば、それは取り入れてと思っておりますが、基本的には可能な限りそのままの形で引継がせていただくということを、方針としており、できるだけ変動がない形でスムーズに対応できればと思っております。

【副会長】

今3番目のところで、今の現行の保育のやり方を引継いでいただくというようなことも、基本前提としてあると思いますが、ここではどのような魅力ある保育をするのか。何かそのあたりで具体的にお考えのことはありますか。

【法人】

私は子どもを枚方市の公立保育所で育てていただき、10年近くお世話になりました。私も41年間、交野市の公立で勤務しておりまして、交野市で民間移管をするときに、当法人から声をかけていただき、現在3年目になっております。市と話し合い、連携を取りながら、子どもたちに負担がないように、現在の保育を引継ぎつつ、保護者の方々のニーズに応えながら運営しております。地域の方々にもかわいがっていただき、スムーズに運営しております。基本は、食事、体を動かす、子どもたちから自発的にどういう具合にしていこうかなという、そういう気持ちを育てる「10の姿」というものを保育に取り入れながら、日々の保育をしております。

【法人】

私は枚方市の公立保育所の所長をしており、定年退職した者でございます。枚方市の保育がどういうものか、どういったことを大事にしてきたかは、身にしみており、それをどのように民間委託のところに引継いでいきたかったのかという思いは十分感じ取ってきたと思っております。公立だから、民間になったからとかいうことではなく、やはり子どもたちにとっての保育園というところを考えて引継ぎを進めていきたいと思っております。私としては、枚方市の公立保育所の保育については、本当にいろんなことも教えていただきましたし、自分自身でも考えてきたところでもありますので、そのところは同じ枚方市の保育所、法人の保育所として、きちっと引継ぎの内容を一緒に考えて進めていけたらいいなと思っております。

【副会長】

ありがとうございます。少し追加でお聞きしたいのですが、先ほど障害児保育のことで、一人一人を大切にというお話がありましたが、具体的にどのようなサポートをされていますか。ほかの園のことでもいいので、教えていただきたいです。

それから、「10の姿」のお話もありましたが、そのような魅力的な、あるいは子どもの主体といったときに、設計の方もおられますが、例えば保育環境として、それはどのような形で具体化していくのか。もしお考えがあれば、教えていただきたいです。

【法人】

支援につく者、担任がご家庭の思いをしっかりとくみ取れるように、入って来られるときに話し合いをいたします。そこには、交野市では、市のほうの子育て支援課、健康増進課、そういう方々も入っていただき、今までどのような育ちであるとか、どういう具合に関わってあげるのがいいのかという話を、入所前にもいたします。そして、入所後にも、保護者の方と今の状況はこうですよとお話ししながら、どうしていくのが一番いいのかということを、保護者の方にも子どもたちにも寄り添いながら進めていっております。

【法人】

走谷ちどり保育園の場合は、公立保育所と同じだと思いますが、枚方市の子ども発達支援センターというところがあり、そちらの相談員の先生に、支援のお子様をお一人お一人、発達相談というものを受けさせていただいております。発達相談では、担任のほうが、このお子さんのこういうところ、今こんな姿があると、私たちはこのように理解して、こういうような対応をしているけれども、それでいいのかということとか、これについて分からないであるとか、そういうケース記録を事前にお渡しいたしまして、発達相談を受けています。内容としては、保護者の方とお子様と相談員の方がいらっしゃって、検査を受けて

いただいて、保護者の方の了承を得て、私も担任も同席をさせていただいており、保育所としてはその検査結果をきちっと受け止めて、カンファレンスの中で具体的にどのような保育をするのか、改善の部分があることも実際にございます。今はこうしているけれども、お子さんのこういう部分では、今からは少し保育方針を変えたほうがいいよねとか、対応はこのようにしたほうがいいよねということを細かく話し合いながらさせていただいていきます。

【法人】

私のほうでは、以前内部障害のお子様がいらっしゃいまして、保護者の方とご相談しましたら、心臓のほうに障害があるので、あまり激しい運動はしないようにという申し送りを受けていましたので、もちろん保育士は一緒に対応していましたが、体操や遊ぶときはお部屋の中で一人寂しくということもございました。本人には、やはり外に出たいという思いがありましたので、保護者の方と一緒に園長と担任で、主治医のところに行かせていただき、保育園はこういうところで、激しい運動というのはどこまでなのかというのを確認しましたところ、短時間外で遊ぶというぐらいであれば、問題ないということを確認し、対応をしています。ご質問の例にあたるかどうか分かりませんが、これまで関わられている関係機関のほうからも情報をいただいて、こういう対応がいいのだということを参考に、私どもで可能な限り対応させていただいたところですよ。

【副会長】

ありがとうございます。今もお話があったように、障害というのはいろいろな幅があると思います。発達障害のを中心にお話しいただいたと思いますが、ご提案いただいた資料の中に、視覚障害者支援をされているということも書かれていますので、何かそのあたりで具体的にこういう支援をしているということがあれば、教えていただけたらと思います。

【法人】

実はライトハウスさんという団体と、情報共有しながら対応しているというものであり、本日具体的なところの情報収集はしておりませんが、受入れさせていただき、何とか対応していきたいという状況でございます。

【法人】

以前、視覚障害の方がいらっしゃって、学校のほうにもついて行かせていただいて、そこで指導教諭の先生がどのようにアプローチをされているとか、そのようなことも学ばせていただきながら、それを保育所の施設の中で保育士に置き換えたときに、どのような支えの入れ方とか、どのような音の高さとか、そういうことも教えていただきながら保育させていただいた経験はございます。

今現在、走谷ちどり保育園ではそのようなお子さんはいらっしゃいませんが、お答えとしてはそういったところですよ。

【委員】

建替えとなると仮設園舎に子どもたちが行くと思うのですが、その予定地はどうなりますか。

【法人】

候補地は2か所ありますが、小松製作所所有地で検討させていただいているところですよ。

【委員】

そこは場所的に危ない場所だと思います。結構スピードを出す車もありますが、その辺の安全面はいかがですか。

【法人】

そうですね。今日も見えてきたのですが、前面道路は交通量が多いところで、気をつけなければいけないと考えております。警備員の配置であったり、そういった安全対策には十分配慮していけるかと思っております。

もう一つの全国民間賃貸サービス合同会社所有地も考えさせていただいたのですが、やはり敷地にたどり着くまでの道が、住宅街の中の細い道を通る必要があり、工事車両も保護者の方の車も通りますし、こちらのほうが近隣の方への迷惑が多くなるのではないかと判断しまして、小松製作所所有地で進めさせていただいております。

【委員】

給食にすごくこだわっているということで、それはすごくいいことだと思いますが、保育所見学に行ったときに、ひと手間かけた食事を出すようにしており、カレーは基本出さないと聞きましたが、やはり子どもはカレーが大好きで、うちも昨日保育所で昼カレー、今日の晩もカレーですが、それでも喜んでいるので、やはりカレーは出してあげてほしいなと思っております。

【法人】

誰が説明をさせていただいたのか何となくイメージができますが、カレーは出るように対応したいと思っております。

【法人】

走谷ちどり保育園は、牛乳も卵のおかずも、それからカレーライス、ハヤシライスも出させていただいております。それぞれの園でそのあたりは任せていただいているので、枚方市に設置する保育所としては同じような形で提供できるかと思っています。

【法人】

引継ぎの際のメニューも参考にさせていただければと思っております。

【委員】

民営化された後に、保護者が何か購入をしないといけないということはありますか。

【法人】

一切ございません。

【委員】

体操服とか何もないのでしょうか。

【法人】

はい。体操服もありませんし、制服もないです。

【委員】

上履きはどうか。

【法人】

上履きは、保護者の方にアンケート取らせていただいて、この前もご説明させていただきましたが、3歳から履かせていただいています。

【委員】

運営している全ての保育園で導入しているわけではなく、走谷ちどり保育園さんでだけ導入しているのでしょうか。

【法人】

民営化させていただく際に、保護者の皆様のご意見も伺って対応しており、そのまま何も制服等を導入せずに運営しているケースもあれば、数年たってから、やっぱりそういったものがあつたほうが良いというご意見が出て、途中で導入したケースもあります。

【法人】

公立を引継ぐということで、市によっては公立でスモックのようなものがあり、その色が変わったというケースはございます。

【法人】

これは川村が現在勤務している施設の内容です。

【委員】

ありがとうございます。

あと1点ですが、ここだけはほかの保育園に負けていないというものはありますか。

【法人】

そうですね。生き生きと伸び伸びと、子どもたちは本当に走り回って、泥んこになるぐらいに外で遊んだりとか、近くにはお山がありますので、そちらのほうに行ったりとか、私市の植物園のほうに遊びに行ったりとか、自然の中で伸び伸びとおいしい空気を吸って遊んでおります。子どもたちは、遊びの中から友達関係やいろいろな学びを体験しております。

【法人】

走谷ちどり保育園では、交野市のような裏がお山という環境ではありませんが、暑くなる前の四、五、六月ぐらいまでは、道順に気をつけながらお散歩に積極的に出ており、暑くて外に行くのが危険な状態の日には、広いランチルーム、遊戯室もありますので、そこで体を動かしたりとか、遊具でその部分を補うとか、そういうことを職員がすごく素直に考えており、公立と比べると、職員層は若いと思うのですが、やっぱり学びたいとか、知らなかったことは、知ったときに、ああこんなことが分かったというところで、やっぱり共感しながら、子どもたちのことを考えられる、そういう保育所を目指していますし、そういうところが走谷ちどり保育園としてはいいのだなと言えるようになりたいと思っています。

【会長】

いろいろと今話してもらいましたが、施設長予定者の方の思いというのが一番大きいところだと思いますので、最後に、民営化において、施設長予定者の先生から、一番大切にしたいと思うことを教えていただければと思います。

【法人】

私も長く公立で仕事をしてまいりました。子どもたちの自主性というのを大切に、また保護者の方に寄り添いつつ、子どもたちの成長をずっと見守ってまいりました。やはり子どもが中心で、子どもが主役だと思っております。お子さんの後ろには保護者の方もいらっしゃいますので、そのところは共通理解をしつつ、寄り添いながら、よりよい園をみんなで共有しながら築きあげていけたらいいかと考えます。

【会長】

ありがとうございます。それでは、質疑はこれで終了とさせていただきます。事務局、よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、「枚方市立保育所民営化に係る晋栄福祉会のプレゼンテーション」を終了させていただきます。退出のほう、よろしくお願いいたします。

【法人】

どうもありがとうございました。よろしくお願いいたします。

(法人 2 晋栄福祉会 退室)

【会長】

それでは、法人 2 晋栄福祉会のプレゼンテーションが終わりましたので、これより仮審査を行います。10 分間時間を取りますので、終了 2 分前に、事務局からお時間をお知らせください。

(各委員採点)

【会長】

それでは、続きまして、法人 3、因明会のプレゼンテーションをさせていただきます。事務局、よろしくお願いいたします。

【事務局】

それでは、法人に入室いただきます。

(法人 3 因明会 入室)

【事務局】

それでは、ただいまから「枚方市立保育所民営化に係る応募法人プレゼンテーション」を始めさせてい

たきます。まず、自己紹介のほうをよろしくお願いいたします。

【法人】

初めまして、因明会の貫野と申します。泉大津市で園長をしております。今日は理事長が体調不良のため、私、娘婿で常任理事もしておりますので、理事長の代理で来ました。よろしくお願いいたします。

【法人】

高槻市の柳川認定こども園の園長をしております谷本佳亮と申します。本日はよろしくお願いいたします。

【法人】

高槻の柳川認定こども園の副園長をしております松岡里江と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【法人】

株式会社タフ建築スタジオ、谷上と申します。建築士です。よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、プレゼンテーションを始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【法人】

それでは、社会福祉法人因明会のプレゼンテーションを開始させていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、法人紹介です。改めまして、社会福祉法人因明会と申します。私たちは、平成13年に泉大津市に園を開園して以降、地域に根差した運営を行ってまいりました。最近では、令和2年に高槻市より運営移管を受け、認可保育所の運営を開始、認定こども園へと移行して、現在も運営を行っております。

本日、参加させていただくメンバーを紹介させていただきます。理事長代理で、当法人の理事で、認定こども園ばるの施設長の貫野政彦です。

【法人】

よろしくお願いいたします。

【法人】

施設長予定者で、柳川認定こども園副園長の松岡里江です。

建築士で、株式会社タフ建築スタジオ、代表取締役、谷上真通さんです。

【法人】

よろしくお願いいたします。

【法人】

私が、柳川認定こども園施設長の谷本です。本日はどうぞよろしくお願いたします。

では、我々が、本案件に応募させていただいた理由についてお伝えさせていただきます。

まず、保育、教育ノウハウの提供による地域貢献ということで、当法人はこれまで地域社会や、そこで子育てをする保護者、そして誰よりも子どもたちのために、様々な保育、教育活動を行ってまいりました。そこで出たノウハウを、枚方市の地域に対して提供することで、さらなる社会貢献につなげたいと考えております。

そして2つ目ですが、直近での新規立ち上げ経験の活用です。

令和2年4月に、高槻市で公立保育所の引継ぎを経験いたしました。1年間の仮設園舎での保育を経て、令和3年6月より新園舎が完成し、新しい環境で保育を行っております。保育所立ち上げにあたっては、地域のニーズに寄り添うとともに、自治体との連携が欠かせません。当法人は、信頼関係を構築するには、小さな積み重ねが大切、大事だと考えております。当法人と引継ぎを受ける保育所の園児、保護者、先生、近隣の住民の方々、市役所との信頼関係を構築するために、顔を合わせて話し合う機会を頻繁に設けてきました。

以上の理由から、今回、当法人の運営ノウハウを生かし、枚方市の地域社会に貢献できると考え、応募をいたしました。

次に、経営方針ですが、理事長代理の貫野よりお話をさせていただきたいと思っております。

【法人】

私たち、社会福祉法人因明会は、社会福祉の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性を図り、もって地域福祉の推進に努める。子どもたちの成長を見守り、保護者の皆様の信頼を得る保育事業を継続し、地域の皆様に必要とされる保育園を運営していきます。

【法人】

保育所運営に関わる考え方ですが、施設長予定者の松岡よりお話をさせていただきます。

【法人】

当法人の保育理念ですが、「心の力・学ぶ力・体の力を育てる」です。心の力は、困難なことが起きても自ら乗り越えていく強い心、仲間を応援する心、助け合いの心を育む。学ぶ力、勉強はできるためではなく、自ら学ぶ力を引き出す。そして最後に、体の力、6歳頃までに固まると言われている運動神経を高める。健康で丈夫な体づくり。こちらの保育理念、保育目標を実現するために、子どもたちが豊かな日々を送れるよう、家庭との協力のもと、よりよい環境を提供します。

また、保育目標については、後ほどお話しさせていただきます。

【法人】

次に、保育の質の向上や職員の育成についてですが、当法人では、職員が内部、外部の研修などを積極的に受けられるような体制づくりを行っております。それによって、保育の質の向上に努めております。既存園では、新人研修をはじめ、保護者支援研修、救急救命講習、運動遊び研修、指導計画作成研修から、保育士の経験に合わせて、衛生管理研修、安全管理研修、施設長研修、人事労務研修、スキル向上を目的とした研修を行っております。

次に、桜丘北保育所を引継ぐにあたっての法人の考え方ですが、冒頭の応募に至る動機・目的でも少しお話をさせていただきましたが、引継ぎにあたって一番大切なことは、保護者、桜丘北保育所、枚方市、そして近隣住民の方々と、当法人の信頼関係の構築であると考えております。私たちは、信頼関係の構築に努め、利用者が安心して保育園を利用できるように、下記の取組みを行います。

1つ目、保護者説明会の開催。枚方市と合同での保護者説明会を、法人選定後に開催します。保護者の不安や疑問を払拭できるよう、お話を伺い、丁寧に説明する機会を、必要に応じ、随時開催をいたします。

2つ目です。三者懇談会の設置。保護者代表、枚方市、当法人との三者懇談会を、移管前後の各1年間設置し、必要に応じ、懇談を行います。期間終了後も、市の求めに応じて、または保護者会の求めに応じて開催をする用意もあります。保護者の意見をしっかりと受け止め、相互理解を深め、良好な信頼関係を引継いでまいります。

次に、3つ目です。共同保育の実施。施設長予定者は、随時、桜丘北保育所を訪問し、保育内容等の確認を行います。保育内容や行事等の確認を行い、共同保育の実施計画作成の協議を行います。また、令和5年10月から令和6年3月に、共同保育を実施し、各クラスに保育士を配置します。園児や保護者の安心材料が増えるように、現在、桜丘北保育所で働いている会計年度任用職員の先生方の採用に向けても積極的に取組みます。

【法人】

保育所整備の考え方です。

1、保育環境の向上。元気いっぱい遊べるスペースの確保。穏やかな環境の確保。この2つを併存できる施設を目指します。温かで穏やかなイメージとして、木目を基調とした内装を考えています。

2、子どもたちの視点に立った施設整備、安全確保。子どもの特性を踏まえた保育士と建築士の連携で、計画の安全チェックを行います。乳幼児施設としての当然の安全確保を行います。

3、シックハウス対策、新型コロナウイルス感染症対策。シックハウス対策はもちろんのこと、機械換気、使用建材に配慮します。新型コロナをはじめとする感染症について、国、市の指導のもと対応します。

【法人】

教育、保育内容についてです。当法人では、基本理念として、「常識ある人間、良識ある人間、世のため人のために尽くす人間を育てる」を掲げております。その実現のために、日々の活動に取り組んでいます。しかし、ただ活動を淡々とこなすのではなく、子ども一人一人に合わせて声かけや働きかけを行い、子どもたちの自発的な取組みを引き出すことに力を入れております。

ここからは、具体的な園運営の内容につきまして、施設長予定者の松岡よりお伝えしたいと思います。

【法人】

改めまして、施設長予定者の松岡と申します。現在は、柳川認定こども園の副園長として、現場の運営管理を行っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

次の教育、保育内容のページをごらんください。当法人の教育、保育理念をもとに、こちらの教育、保育目標を掲げております。

「健康で丈夫な子」、「見分ける、聞き分ける、集中できる、作り出せる子」、「友達を大切にし、自分も大切にできる子」、「豊かな表現ができる子」。いずれも当法人が大事にしていることですが、友達や自分を大切にできる心を持つことで、様々なことに意欲的にチャレンジすることができると信じています。

まずは、我々、大人、保育者同士がお手本になるように、先生同士、ありがとうやごめんねをきちんと

目を見て言うことを徹底したり、子どもたちからそのような言動が出たときはしっかりと褒めてあげるなど、日々の保育の中で、子ども自身が体験できるような雰囲気づくりを心がけております。

また、当法人では、教育、保育の特色ある取組みとして、食育にも力を入れております。乳幼児期における食事は全ての活動の基本となります。子どもたちは食べることを通して体力を維持、成長させ、丈夫な体づくりをするとともに、食べることの喜び、満足感を得ることで、次の新しいことに挑戦する意欲を育てることができると考えています。また、食を通して感謝の気持ちや命の大切さ、思いやりの気持ちを学ぶことを大切にしており、園内の栽培活動や調理活動などの活動を実施しています。

こちらの今映っている写真は、実際に柳川認定こども園でオクラを育てている様子です。食卓に並ぶ食材がどのようにして育っているのか。また、スタンプづくりなどを通して、植物がどのような構造になっているのかを学ぶ活動を通して、食材への興味・関心や、愛着を育てることを大切にしています。

また、離乳食指導の一環として、食材別のチェック表を用いた指導を個人別に実施しております。個人ごとに食べることができた食材を管理することで、食の進み具合を把握するとともに、栄養士や保育者が一人一人に合った適切な指導を行える体制を取っております。

また、当法人では、安全管理、危機管理にも徹底的にこだわっております。昨今では、子どもたちが巻き込まれる痛ましい事故も起こっており、それらは日々のちょっとした油断の積み重ねで、どこの園にも起こり得るものです。しかし、園の取組み次第で、その確率を限りなく少なくすることは可能だと考えています。

当法人ではマニュアルの活用、日々の安全点検、ヒヤリハットの検証、アレルギー対策の実施などを通して、日々の運営が安全に行われるよう、努力しております。どれだけ意識していても、エラーは起こり得るものという考えのもと、安全管理においては複数、トリプルチェックを行っております。例えばアレルギー対策においては、事前の献立チェック、トレーやお皿の色分けに加え、調理員、保育者でトリプルチェックを実施し、人的エラーが起こる可能性を可能な限り0に近づけるようにしています。

以上で、社会福祉法人因明会のプレゼンテーションを終了いたします。ご清聴いただき、ありがとうございました。

【会長】

それでは、ただいまから質疑のほうに入ります。時間も限られておりますので、回答は簡潔にお願いいたします。

それでは、委員の方から、質問いかがでしょうか。

【委員】

民営化された後に、保護者の方の仕事がお休みだと、保育所から仕事がお休みであれば子どもさんもお休みさせていただきますという話を聞くのですが、因明会さんは、もし民営化された後、保護者の方のお仕事がお休みであったとしても、お子さんを預けることは可能でしょうか。

【法人】

はい、もちろん原則的には可能ですし、保護者の方の意見や感情、思いといったところに寄り添うのが第一と考えております。もちろんそれだけではなくて、子どもの愛着経験には、保護者の方、特にお母さんと一緒にいることも大事だと考えていますので、その一つだけ見るのではなくて、多角的に保護者の方と一緒に寄り添いながら、相談しながら決めていきたいと考えております。

【委員】

仮設園舎の候補地が2つ、市のほうから提示されていると思いますが、どちらを予定していますか。

【法人】

小松製作所所有地のほうで考えています。

【委員】

そこは車通りも多くて危ないと思いますが、そのあたりはどのように配慮するのですか。

【法人】

警備員を置くことを考えております。

【法人】

施設整備の面では、道路側に駐車場を設けるようにして、園舎は道路から平行に離すイメージをしております。園舎を挟んで道路と反対側に園庭という形で、園庭を仮設の園舎で囲い込むような安全な園庭を考えています。

【委員】

写真を見ている限り、体操服があると思いますが、民営化後もこういった体操服は着用しないといけないのでしょうか。

【法人】

高槻市の柳川認定こども園の例で出させていただきますと、3年間は必ず高槻市の保育を引継ぎなさいということがあり、今年が2年目で、来年が3年目になります。体操服については、今年度から任意で、購入を希望される方は買ってくださいという形で進めており、そこは桜丘北保育所さんでは法人選定後、保護者の方とお話をさせていただいて、どういう形で進めるのかということをしつかりとお話させていただければと思っております。強制的に体操服を購入するといったことはありません。

【委員】

基本は私服ですか。

【法人】

そうです。保護者さんが決められた私服で来られている方も多いです。

【委員】

はだし保育でしょうか。

【法人】

はい。服については、2年目のときは、もう皆さん私服で来られていました。運動会は動きやすい服装という形でさせていただいておりました。

【委員】

資料の写真では何かお勉強をしているように見えますが、これはお勉強しているのですか。

【法人】

そうですね。幼児、3歳から、塗り絵から始めてという形になりますが、簡単な書く教材を使ったり、5歳に近づくにつれて就学に向けた取組みを少しさせていただいております。

【委員】

ちなみに、こちらの計算をしている写真のお子さんは何歳児ですか。

【法人】

5歳児です。

【委員】

これは何を目的としていますか。

【法人】

そうですね、これは基本的には就学に向けた準備ということが目的になってきますが、特に一斉授業という形でやっているわけではなく、その子ができること、課題をクリアしていっているという形です。

【委員】

人それぞれで、子ども一人一人違うことをしているのですか。

【法人】

そうです。違うことをしています。

【委員】

この子はたまたま計算をしているということですか。

【法人】

はい、そうです。

【委員】

これは別に保育の一環として、しているわけではないということですか。

【法人】

そうですね。課業としての取組みではありません。この子はたまたまこういう計算をしています、簡単な書きものをしている子どもたちもおり、個別に対応しております。

【委員】

教育、保育目標の中で、見分ける、聞き分けるとありますが、見分ける、聞き分けるといのはどうい

ったものでしょうか。また、子どもたちが何かを見分けられる、聞き分けられる、というのは、どのように保育の中で教えているのですか。

【法人】

特に、これといったものを子どもたちに教えなさいということは、今、園のほうで先生たちには伝えてはおりません。ただ私個人として、こちらの教育、保育目標でいう「見分ける、聞き分ける」というものは、すごくシンプルなことですが、例えばお友達におもちゃを取られたら、それで手を出すのではなくて、口でちゃんと返してほしいよと言ってください。これがいいこと、駄目なことを見分ける。そして先生から言われたことも、これは駄目だよと言われたことは、お友達と仲よくしてねというときは仲よくする。そして手を出さない。きちんと自分の思いを伝えるということをきちんと見分けて、聞き分ける、というように、私のほうでは解釈していて、先生たちにも、口で言うわけではなくて、自分の行動で先生たちもやってもらっているかなという感覚ではあります。

【委員】

教育と保育内容のところで、教育というところは、どのようなことをされているのですか。

【法人】

教育という部分に関しては、当然遊びを通して学ぶこともしておりますし、認定こども園で、教育時間というものがありますので、合唱をしたり、音楽をしたり、教材を使った書きなどもしております。

【委員】

ということは、普通にこういった内容を保育の中の一環でしているということですか。

【法人】

はい、そうです。

【委員】

費用は保護者負担になりますか。

【法人】

いえ、法人で負担しています。

【委員】

新たにお金を出すということはないですか。

【法人】

はい、現在は考えておりません。高槻市の柳川認定こども園でもそういう形でしております。当然何か変更がある場合は、必ず協議をしてから変更ということでお約束させていただいておりますので、必ず協議をして、納得いただいてからという形で進めさせていただいております。

【委員】

納得できなかった場合、その話はもうないということですか。

【法人】

はい、もちろんそうなります。

【委員】

保護者会はありますか。

【法人】

昨年、保護者会の方から、負担が大きいという申出があり、保護者会は私たちが関与するものではありませんので、保護者会の方々でもう辞めるという形になり、保護者会は解散しました。個別にご相談を受けたりするケースはあります。

【委員】

保護者会の負担が大きくてというのは、どういう内容だったのですか。

【法人】

行事の開催などになります。働いている保護者の方が多く、なかなか参加できないという声が役員さんからあがりまして、保護者会の会議で保護者会をなくすという議決をされたというのが現状です。

【委員】

公立保育所を民営化するにあたって、公立保育所をそのまま引継ぐというのは多分あったと思いますが、こういった教育的なものは、私たちは望んでいないというところがあります。やはり保育園で伸び伸びと遊んでというのが、公立のいいところですし、こういった教育は少し違うかなというように感じています。

【法人】

率直なご意見ありがとうございます。

【委員】

2点ほど質問させてください。

資金的なところで、今回、市中銀行に打診いただいて、福祉医療機構も考えておられるとのことで、施設整備について、融資は出るかと思しますので、その点は問題ないかと拝見していましたが、直近に柳川認定こども園さんを開設されて、そこから2年ぐらいということですので、因明会さんの規模的なところでいうと、非常に大きな投資を連続でされる形だと思いますが、いかがでしょうか。現在の規模で、そういった資金的なところで、今回投資をされて、経営的には一切問題ないというようにお考えでしょうか。

【法人】

資金的にはおかげさまで問題なく、予定どおり進ませていただいています。銀行のほうも全面的に協力していただいている部分もあり、今まで泉大津で25年運営している実績と、高槻のほうも運営的にはきち

んとやっていますので、そういう考えのもとで資金繰りのほうはさせていただいております。

【委員】

分かりました。もう1点ご質問させていただきます。

人材的な問題について、なかなかどの業種であったとしても、人材がなかなか集まらないという時代ですが、資料を拝見していると、早期からの募集であったり、復職支援という、一般的なこととお書きいただいています。気になる点として、決算書を添付していただいています、数字を見ても連続性がなく、間違えられた書類を挟んでおられるかというところです。資料が間違われたからといって、財務的なものが分からないというわけではありませんが、率直な感想で申し上げますと、経理的な、バックヤードのところの数字で合うべき数字が合っていないという書類を出しておられるので、バックヤードの仕事が少し今滞っておられるといたしますか、人材的に大丈夫なのかなという一抹の不安があります。経理部門と園も距離的に離れておりますので、人材の確保というのは本当に大丈夫なのかという、別の話かもしれませんが、少し不安に感じましたので、いかがでしょうか。バックヤードの経理的なお話も踏まえ、先生方もそうですけども、実際に応募いただいて、人材を集めることについて、どのようにお考えか、教えていただけたらと思います。

【法人】

そうですね。人材に関しては、高槻の認定こども園からは25分から30分の距離で来れますので、もし人材が足りないとか、そういった緊急事態の場合は当然応援にも来させていただきますが、この人材に関しては、非常にどこの法人さんも苦しい状況だと思います、今は紹介会社とか、そういったところも、もちろん面談で人選はしっかりとさせていただきますが、活用しています。桜丘北保育所さんにもしっかりと職員を配置できるように努力していきたいと思っております。それがもう本音のところでは。

【委員】

ありがとうございます。

【委員】

基本理念の中のお話で、心と学びと体ですかね、子どもたちを豊かに教育すると。その学びの中で、お勉強じゃないですよということでしたが、先ほど質問された委員の方がおっしゃったように、私も写真を見て、お勉強しているのかなと一瞬思いました。この学びもあって入ってくるのかなと思いました。また最後の食育の写真ですが、子どもたちにお野菜を植えさせて成長を見せていくというお勉強をされていると思うのですが、その下の写真で、オクラは作っていないのかもしれませんが、これをハンコと、遊びのほうに持ってきていると思います。今お野菜でいろいろなハンコ遊びというのがあるので、その一つかなと見ていましたが、オクラをもし作っていて、作ってそれを収穫してハンコにしているのであれば、オクラは食べるものですので、食べるものとお遊びの道具という、その区別をつけるところも、しっかり先生たちは教えていただいていると思うのですが、小さい子は分かるのかなと思いました。お料理になったら刻んでいくので、この大きいまま食べないとは思いますが、そういうところも食育の学びに入っているのかなと思うのですが、そういうことは気をつけておられますか。

【法人】

はい。おっしゃるとおりで、ごもっともなご意見だと思います。この時は少し事情がありまして、この

写真は、柳川認定こども園の、今の2歳児の写真ですが、このときにオクラが実は3つしか取れませんでした。写真では立派に育っているように見えますが、かなり虫に食べられてしまっており、栄養士とも相談しましたが、実際にお料理するには少し不衛生だと判断しました。ただ、捨てるわけにはいきませんので、どうするかということで、じゃあ本来は食べものだけれど、食べものに感謝してスタンプ作りをしようかということで、スタンプ作りをさせていただいています。

【委員】

そういうご配慮があったんですね。

【法人】

もちろん、おっしゃっていただいたことはとてもよく分かります。

【委員】

口に入るものという思いがありました。

【法人】

3つしかなくて、このオクラに関しては食べられるまでには至らないから捨てるよりは、再利用とか、こういうふうに構造ができていんだよ、こういうふうに命をいただいているんだよということ、みんなで勉強しようね。そしてスタンプしようねという遊びをしました。

【委員】

はい、分かりました。

【副会長】

先ほどから出ている質問は、どんな保育をするのか教えていただければということなのだろうと思います。提出書類を見せていただいたときに、全体的な計画でいえば、現行の保育所保育指針に変えていただき、それに合わせて組立てしていただけたらと思いますし、それに合わせていったときに、どんな組立てにしていくのか、どんな保育をされたいのかというところです。例えば食育についてのお話や課業というお話がありましたが、課業は日常保育の中でどのように大事なものだと思っておられるのか。また、表紙に和太鼓がありますが、和太鼓も取組まれますか。そういうものをデイリーの中で、あるいは日々の保育の中で、こういう育ちがあるから、例えばこの和太鼓に取組みたいといったことが、もしありましたら教えていただきたいということが1点目です。

そしてそれに伴って、障害児保育に取組まれるといったときに、例えばほかのお子さんと同じような保育を展開されるというのは、どのような工夫をされているのか。どのような障害に対して、どのような対応をされているか。そうするために、例えば今日建築士の方もおられますが、保育環境のご提案で、こんな工夫をします、ほかの園ではこんな工夫をして、こんな効果がありました。エレベーターをつけるといった記載もありましたので、車椅子の想定もされているのかもしよかもしれませんが、そういったお子さんが、例えば運営するほかの園でおられて、そのお子さんがどのように今うちの園ではこういう一緒に保育をやっているという取組みがあれば、教えていただきたいというのが、2点目です。

最後に、高槻市で民間移管を受けたときに、具体的にどのようなことを大切にされて、どのような引継ぎ方をされて、大切なポイントはどこでというような、苦労されたところはこうだとか、そのあたりがも

しあれば教えていただけたらと思います。

【法人】

それでは、最後のご質問から回答させていただきます。

私は高槻市の民間移管のときから園長をしておりますので、少しお話しさせていただきます。本当に苦労した点は、やはり我々民間の思いと公立の思いには、少しギャップがありました。高槻市は異年齢保育を中心としており、我々はなかなか経験したことがない分野でしたので、しっかりとそこの所長さんと、保育士さんが引継ぎ保育に入ってくださいましたので、その中で議論をして、異年齢保育、その地域社会の表すプラス形成であるということで、ホームごとの保育をさせていただいて、当然そのよいところ、育ちもありますが、まだ5歳児と3歳児が喧嘩をしてしまったり、そういったところがあったので、我々が分からない分野についてすごく苦労をしました。その地域住民さんとの関係や、保護者さんも最初は我々のことを分かっていたいていないので、公立の保育をしっかりと引継いでくれるのかということで、いろいろとご注文を受けたことも当然ありました。しかし最終的には、高槻市さんからも引継ぎに来ていただいた先生からも、非常によくやってくれたという言葉をいただいておりますので、そこは本当にやってきてよかったなというように思いました。

あと、障害児保育に関しての考え方としては、インクルーシブです。加配補助は当然つけさせていただきますが、やはりみんなと同じ環境で、同じクラスで、同じような取組み、周りと同じような環境で育つことによって、周りの子どもたちも成長するというように、周りの人からも、保護者からも言われますし、そういう環境に子どもがいることによって、言葉のシャワーをどんどん浴びて、非常に成長してくれている姿もありますので、やはり当然障害の状況によって必要な支援というのは様々だと思います。ですので、その適切な支援をしっかりと行っていくという考えで、障害児保育に向き合っております。

【法人】

一番初めの質問について、少し二番目の質問と被るところがあるかもしれませんが、過去に重度の障害のある子どもがおり、インクルーシブで、クラス内で一緒にクラス活動をしていました。この和太鼓が何のためにこういったことをやっているのか、何のために教育があるのかということ、先ほどおっしゃられていましたが、その障害のある子どもはもちろん叩くことだったり、初めは全く嫌がっていてパチを持つこともなかったのですが、友達たちが一緒にやろうよというので、大人が教えるのではなくて、友達が一緒に、何々ちゃん一緒にやろうということで、最後の発表会では一緒に友達のリズムをまねて和太鼓をたたけるようになったりとか、あとは学習の面においても、一斉に同じことをするというわけではなくて、先ほど説明があったように、一人一人個別の自分のレベルに合って、自分のやりたいレベルのことをしています。塗り絵をやっている子もいますし、1だけをずっと書いている子もいます。数字が好きだから、先生、百まで書いてって、子どもたちから言ってきます。なので、子どもたちに書いてあげる、そうすると子どもたちからどんどんしたい。もっと数学、算数とか足し算をしたい。もしくはもっと塗り絵をしたいという子どもが増えてきますので、そうするとその障害のある子どもも一緒になって塗り絵を始め、全く発語もなかったのですが、色を覚えるようになって、赤、青、黄色、12色は言えるようになったかと思えます。全く発語がなくて、友達たちと一緒に勉強ではないですが、遊びの中で学ぶことによって、そういった障害のある子どもも同じようにインクルーシブすることで成長していったのかなと思います。私の個人的な考え方では、この和太鼓も勉強も、もちろん自分自身のレベルアップではあるのですが、和太鼓は特に一つの気持ちにならないと音というのは完成できないので、そういったその技術的なものというよりは、友達との輪の力、一つに合わせるというものを大切にしています。この自学で課業とかも、勉強とい

う言い方で一つにくくってしまうと勉強になるかもしれませんが、勉強というよりは子どもたちがこういったことをやりたい、子どもたちが日常の中で、これ先生何時、これは3時だよ、じゃあ3時ってどうして長針がこうなんだ、と子どもたちが聞くようになってきます。それを教えるという感覚で、自ら子どもたちがこういったことを学びたいということを主に重視していくことを私たちは目標としています。ですので、大人からこれをやりなさいということはほとんど重きを置いていなくて、子どもたちからこういうことを学びたいということに重きを置いており、学習というか、認定こども園では教育も入ってきますので、行っている次第でございます。

【副会長】

ありがとうございます。少し確認ですが、和太鼓は桜丘北保育所でされるのですか。

例えば、それはいいとか悪いとかではなく、和太鼓を取り入れよう、今回やってみようと思われているのでしょうか。そういうのもご提案の一つだと思います。

あと、学びというところで、例えばこれは何時というのは、それはどこの園でもあることですが、ここで写真に写ってるワークシートを使うというのは、少し違うように思っています。こういうワークシートを取り入れる保育をする、というのは一つのご提案だと思いますので、そのあたりがもしあるのであればお示しいただいたほうが分かりやすいかと思いました。

【法人】

先ほどの私の説明では質問されたことと違う回答になってしまったかもしれませんが、その点に関して、今現在では、認定こども園であり、幼稚園部分の方がいらっしゃいますので教育というものが入ってきますが、民間移管するということになりますので、今のところはこういうワークシートは考えてはおりません。もちろん協議をさせていただいて、保護者の方からしてほしいという要望があれば、もちろんこういった経験があるので提案はできるのですが、こちらからワークシートに関して、現在のところ、しませすという提案はありません。ただし、和太鼓に関しては、こういった経験はすごくいいことだと思いますので、提案するかと思います。もちろん提案しても、保護者の皆様からそれは違うなということでしたら、協議して決めていきたいと思っています。

【法人】

施設長予定者が桜丘北保育所に足を運んで、本当に保護者の皆様、桜丘北保育所の先生方と協議をさせていただいて、共同保育の計画だとか、保育計画も立てていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

【会長】

それでは、これでプレゼンテーションを終了させていただきます。事務局、よろしく申し上げます。

【事務局】

ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、「枚方市立保育所民営化に係る因明会のプレゼンテーション」を終了いたします。退出のほう、よろしくお願いいたします。

【法人】

本日はありがとうございました。

(法人3 因明会 退室)

【会長】

それでは、法人3、因明会のプレゼンテーションが終わりましたので、これより仮審査を行います。
10分間時間を取りますので、終了2分前に、事務局から残り時間をお知らせください。

(各委員採点)

【会長】

それでは、これで仮審査が終了いたしました。今後の進行について、事務局のほうから説明をお願いいたします。

【事務局】

(資料1 2. 運営法人選定をもとに次回選定審査会の進行について説明)

【会長】

ありがとうございます。

ただいま、事務局から今後の進行について説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

(各委員質問なし)

【会長】

それでは、以上で、本日の案件は全て終了いたしました。次回は、本日のプレゼンテーション審査を受けて運営法人の選定を行いたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、これで第5回枚方市立保育所民営化に係る運営法人選定審査会を終了いたします。

本日は、長時間ありがとうございました。